



平成 26年 3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25年11月5日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東京 第一部
 コード番号 4528 URL(<http://www.ono.co.jp/>)
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相良 暁
 問合せ先責任者(役職名)広報室長 (氏名)谷 幸雄 TEL(06)6263-5670
 四半期報告書提出予定日 平成 25年 11月14日 配当支払開始予定日 平成25年 12月 2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26年 3月期第2四半期の連結業績(平成 25年 4月 1日～平成 25年 9月 30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	71,702	0.8	13,156	△24.8	14,598	△23.0	10,157	△8.3
25年3月期第2四半期	71,111	1.3	17,506	△1.0	18,952	△1.2	11,072	32.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 14,887百万円(52.0%) 25年3月期第2四半期 9,794百万円(2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	95.82	—
25年3月期第2四半期	104.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	460,806	428,623	92.3	4,011.23
25年3月期	455,572	423,290	92.2	3,961.55

(参考) 自己資本 26年 3月期第2四半期 425,249百万円 25年 3月期 419,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
26年3月期	—	90.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26年 3月期の連結業績予想(平成 25年 4月 1日～平成 26年 3月 31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	148,300	2.0	27,900	△12.6	29,000	△14.6	20,400	△15.4	192.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年 3月期2Q	117,847,500株	25年 3月期	117,847,500株
26年 3月期2Q	11,832,564株	25年 3月期	11,831,010株
26年 3月期2Q	106,015,759株	25年 3月期2Q	106,017,896株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期（平成25年4月～9月）における業績につきましては、以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期累計期間	平成26年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	71,111	71,702	+591	+0.8
営業利益	17,506	13,156	△4,349	△24.8
経常利益	18,952	14,598	△4,354	△23.0
四半期純利益	11,072	10,157	△914	△8.3

[売上高]

売上高は前年同期比6億円（0.8%）増加し717億円となりました。

- ・講演研究会、説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進め、主要新製品の売上増加により、増収となりました。
- ・主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は堅調に売上を伸ばし182億円（前年同期比+7.4%）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」「プロイメンド点滴静注用」も合わせて42億円（同比+7.2%）となりました。
また、昨年8月に投薬期間の制限が解除されたアルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は29億円（同比+71.2%）、同10月に骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」も4週に1回服用する50mg製剤が投薬期間の制限が解除され51億円（同比+55.3%）となりました。
- ・主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパールモン錠」は167億円（同比△3.8%）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は61億円（同比△14.5%）、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は38億円（同比△17.5%）となりました。

[営業利益・経常利益]

営業利益は前年同期比43億円（24.8%）減少し132億円、経常利益は前年同期比44億円（23.0%）減少し146億円となりました。

- ・売上原価は前年同期比微増の164億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、前年同期比48億円（12.9%）増加し421億円となりました。
- ・研究開発費はライセンス費用の増加などにより前年同期比38億円（18.1%）増加し246億円となりました。

[四半期純利益]

四半期純利益は前年同期比9億円（8.3%）減少し102億円となりました。

- ・特別損益では、投資有価証券評価損の計上が、前年同期比15億円減少し1億円となりました。
- ・法人税等は、税金等調整前四半期純利益の減少と試験研究費の税額控除拡大により、21億円減少し43億円となりました。

(研究開発活動)

当社グループは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

現在、開発パイプラインには、抗体医薬品を含む抗がん剤、がん悪液質の治療薬など、がん治療およびその支持療法の領域の新薬候補化合物をはじめ、多発性硬化症や慢性心不全の治療薬候補などがあり、早期の上市に向けて開発を進めています。

なかでも、がん治療およびその支持療法の領域はアンメットニーズが高いことから、当該領域を戦略分野と位置づけ、支持療法を含むがん患者さんの包括的薬物治療への貢献を目指します。

今後も国内外での世界最先端技術を活用した独創的かつ画期的な医薬品の創製を目指すとともに、ライセンス活動による有望な化合物の導入などにより、質の高い新薬候補化合物の拡充にも努めるなど、研究開発活動の一層の強化に取り組みます。

当期における研究開発活動の主な成果（前期末決算発表以後、本年11月5日までのものを含む）は、以下のとおりです。

[開発品の主な進捗状況]

<国内>

- ・本年6月、「グラクティブ錠25mg」は、シタグリプチンとして12.5mg1日1回が投与可能な製剤（割線錠）が承認され、重度腎機能障害のある患者、血液透析又は腹膜透析を要する末期腎不全の患者についても投与が可能になりました。
- ・本年6月、関節リウマチ治療剤「オレンシアSC」は、皮下投与での剤型追加の製造販売承認を取得しました。
- ・本年6月、完全ヒト型抗PD-1抗体である「ONO-4538」は、悪性黒色腫を予定される効能効果とする希少疾病用医薬品に指定されました。
- ・本年7月、GABA_A受容体作動薬「ONO-2745」は、ICU鎮静を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、長期投与時の薬物動態特性を踏まえて、試験を中止しました。
- ・本年8月、末梢循環障害治療薬「オパルモン錠」は、安定性の改善を目的にした製剤変更に関する承認申請をしました。
- ・本年8月、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は、「2型糖尿病」を効能・効果とした一部変更承認申請をしました。
- ・本年8月、関節リウマチ治療剤「オレンシアSC」を新発売しました。
- ・本年9月、「グラクティブ錠12.5mg」は、重度腎機能障害のある患者、血液透析又は腹膜透析を要する末期腎不全の患者に、シタグリプチンとして12.5mg1日1回が投与可能な製剤として剤型追加の製造販売承認を取得しました。
- ・本年9月、グラクティブ・メトホルミン配合錠（ONO-5435A）/MK-0431Aは、2型糖尿病を対象としたフェーズⅢ試験を実施していましたが、期待された配合剤としての有効性が得られなかったことを踏まえて、開発を中止しました。
- ・本年9月、完全ヒト型抗PD-1抗体「Nivolumab（ONO-4538/BMS-936558）」について、欧州がん学会（European Cancer Congress 2013）において、悪性黒色腫を対象とした日本第Ⅱ相臨床試験の成績を公表しました。

- ・本年10月、手術時・手術後の頻脈性不整脈治療剤「注射用オノアクト50」は、薬事・食品衛生審議会医薬品第1部会において、心機能低下例における頻脈性不整脈（心房細動・粗動）の効能効果追加の承認が了承されました。

<海外>

- ・本年6月、完全ヒト型抗PD-1抗体「Nivolumab (ONO-4538/BMS-936558)」について、第49回米国臨床腫瘍学会 (American Society of Clinical Oncology : ASCO) において、非小細胞肺癌、悪性黒色腫、腎細胞がんを対象とした米国でのフェーズ I 試験及び悪性黒色腫を対象とした Yervoy® (ipilimumab) との併用第 I 相臨床試験の成績を公表しました。また、悪性黒色腫を対象とした Yervoy® (ipilimumab) との併用第 I 相臨床試験については、同様の成績が New England Journal of Medicine (NEJM) にも掲載されました。
- ・本年6月、S1P受容体拮抗剤である「ONO-1266」は、門脈圧亢進症を対象としたフェーズ I 試験を開始しました。
- ・本年9月、完全ヒト型抗PD-1抗体「Nivolumab (ONO-4538/BMS-936558)」について、欧州がん学会 (European Cancer Congress 2013) において、非小細胞肺癌、悪性黒色腫、腎細胞がんを対象とした米国でのフェーズ I 試験及び悪性黒色腫を対象とした Yervoy® (ipilimumab) との併用第 I 相臨床試験の成績を公表しました。
- ・本年9月、プロスタグランジン受容体 (EP4) 作動薬である「ONO-4232」は、急性心不全を対象としたフェーズ I 試験を開始しました。
- ・本年10月、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社は、完全ヒト型抗PD-1抗体「Nivolumab (ONO-4538/BMS-936558)」について、固形がん（トリプルネガティブ乳がん、胃がん、膵がん、小細胞肺癌）を対象としたフェーズ I / II 試験を開始しました。

[ライセンス活動の状況]

- ・本年10月、米国 Valeant 社から、褐色細胞腫に対する治療薬「Metyrosine (メチロシン)」について、日本での独占的開発/販売権を取得しました。メチロシンは、褐色細胞腫患者における循環器症状を軽減する薬剤であり、厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、開発企業を募集していた化合物です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	455,572	460,806	+5,233
純資産	423,290	428,623	+5,332
自己資本比率	92.2%	92.3%	—
1株当たり純資産	3,961.55円	4,011.23円	+49.68円

総資産は、52億円増加して4,608億円となりました。

流動資産は、現金及び預金、たな卸資産の増加などにより24億円増加し、固定資産は、投資有価証券の増加などにより28億円増加しました。

負債は、1億円減少して322億円となりました。

純資産は、53億円増加して4,286億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第2四半期累計期間	平成26年3月期 第2四半期累計期間	増減額
現金及び現金同等物期首残高	85,066	89,116	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,773	12,884	+3,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,813	9,421	+4,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,260	△9,605	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	36	+125
現金及び現金同等物の増減額	5,237	12,736	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,304	101,853	—

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、129億円の収入（前年同期比31億円収入の増加）となりました。法人税等の支払56億円などのキャッシュの減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益が145億円などのキャッシュの増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、94億円の収入（前年同期比46億円収入の増加）となりました。有形固定資産の取得による支出が21億円あった一方で、有価証券及び投資有価証券の取得と償還で差し引き123億円の収入がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、96億円の支出（前年同期比3億円支出の増加）となりました。その要因は配当金の支払い95億円などがありました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて127億円増加し、1,019億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成25年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,261	26,775
受取手形及び売掛金	37,822	36,914
有価証券	105,877	107,456
商品及び製品	16,094	16,947
仕掛品	4,122	5,018
原材料及び貯蔵品	3,192	3,165
その他	23,377	20,884
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	214,741	217,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,933	67,350
減価償却累計額	△45,153	△45,865
建物及び構築物(純額)	21,780	21,485
機械装置及び運搬具	16,545	16,507
減価償却累計額	△14,556	△14,689
機械装置及び運搬具(純額)	1,988	1,818
土地	23,479	23,483
建設仮勘定	1,437	2,346
その他	9,830	9,767
減価償却累計額	△8,886	△8,915
その他(純額)	943	851
有形固定資産合計	49,630	49,984
無形固定資産		
その他	1,383	1,877
無形固定資産合計	1,383	1,877
投資その他の資産		
投資有価証券	180,200	182,338
その他	9,624	9,457
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	189,817	191,787
固定資産合計	240,830	243,649
資産合計	455,572	460,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	3,925
1年内返済予定の長期借入金	101	101
未払法人税等	5,606	4,185
引当金	5,838	5,752
その他	9,996	9,817
流動負債合計	25,786	23,782
固定負債		
長期借入金	134	83
退職給付引当金	1,008	1,126
その他の引当金	98	104
資産除去債務	54	54
その他	5,198	7,030
固定負債合計	6,495	8,400
負債合計	32,281	32,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	430,824	431,441
自己株式	△59,214	△59,224
株主資本合計	406,048	406,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,451	26,944
繰延ヘッジ損益	—	14
土地再評価差額金	△8,577	△8,577
為替換算調整勘定	67	213
その他の包括利益累計額合計	13,940	18,595
少数株主持分	3,301	3,373
純資産合計	423,290	428,623
負債純資産合計	455,572	460,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	71,111	71,702
売上原価	16,282	16,416
売上総利益	54,829	55,286
販売費及び一般管理費		
研究開発費	20,837	24,603
その他	16,485	17,527
販売費及び一般管理費合計	37,322	42,130
営業利益	17,506	13,156
営業外収益		
受取利息	432	292
受取配当金	1,015	1,199
その他	276	440
営業外収益合計	1,724	1,932
営業外費用		
支払利息	0	3
寄付金	143	396
為替差損	97	—
その他	36	90
営業外費用合計	278	490
経常利益	18,952	14,598
特別利益		
投資有価証券売却益	127	—
特別利益合計	127	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1,605	104
特別損失合計	1,605	104
税金等調整前四半期純利益	17,474	14,493
法人税等	6,307	4,255
少数株主損益調整前四半期純利益	11,166	10,238
少数株主利益	94	80
四半期純利益	11,072	10,157

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,166	10,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,242	4,491
繰延ヘッジ損益	—	14
為替換算調整勘定	△131	146
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△3
その他の包括利益合計	△1,371	4,648
四半期包括利益	9,794	14,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,700	14,812
少数株主に係る四半期包括利益	94	74

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,474	14,493
減価償却費	1,332	1,323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△296	117
受取利息及び受取配当金	△1,448	△1,492
支払利息	0	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△127	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,605	104
売上債権の増減額(△は増加)	2,650	908
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,635	△1,721
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,677	△170
その他	346	3,385
小計	17,226	16,952
利息及び配当金の受取額	1,545	1,574
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△8,997	△5,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,773	12,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△10,115	△4,998
有価証券の売却及び償還による収入	25,478	25,800
有形固定資産の取得による支出	△1,978	△2,116
投資有価証券の取得による支出	△8,668	△9,964
投資有価証券の売却及び償還による収入	217	1,503
その他	△121	△802
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,813	9,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△25	△50
自己株式の取得による支出	△5	△9
配当金の支払額	△9,525	△9,538
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,260	△9,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,237	12,736
現金及び現金同等物の期首残高	85,066	89,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,304	101,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。